

令和7年度事業報告書

1. 事務所

東京都千代田区九段北4-1-20 歯科医師会館内

2. 設立年月日

平成12年12月1日（平成23年4月1日より公益財団法人認定）

3. 基本財産

393,159,263 円

4. 役員（令和8年3月31日現在）

役職	氏名	所属団体等
理事長	高橋英登	(公社)日本歯科医師会
副理事長	吉岡貴司	サンスター(株)取締役
副理事長	瀬古口精良	(公社)日本歯科医師会
副理事長	小林慶太	(公社)日本歯科医師会 日本歯科総合研究機構
専務理事	山本秀樹	(公社)日本歯科医師会
常務理事	伊藤明彦	(公社)日本歯科医師会
常務理事	小野寺哲夫	(公社)日本歯科医師会
常務理事	近藤太郎	近藤医院院長
常務理事	辻坂智矢	(公社)日本歯科医師会
理事	飯島勝矢	東京大学高齢社会総合研究機構
理事	小林隆太郎	日本歯科医学会
理事	坂ノ下典正	(株)ロッテ
理事	杉岡伸悟	(一社)兵庫県歯科医師会
理事	高柳篤史	東京歯科大学衛生学講座客員教授
理事	田口円裕	東京歯科大学歯科医療政策学教授
理事	谷征大	(株)ロッテ
理事	柘植紳平	(公社)日本学校歯科医会
理事	中西孝紀	(一社)和歌山県歯科医師会
理事	中原賢	日本歯科大学
理事	西永英司	ライオン(株)
理事	前田真理子	サンスター(株)
理事	丸山博之	サンスター(株)
理事	山中一剛	(一社)日本歯科商工協会
理事	武藤智美	(公社)日本歯科衛生士会
理事	坂田香里	天王洲パークサイドビル歯科院長

監 事	酒 井 昭 則	(一社)岡山県歯科医師会
外部監事	片 桐 春 美	片桐春美公認会計士事務所代表

5. 評議員 (令和8年3月31日現在)

氏 名	所 属 団 体 等
藤 田 純	(公社)福島県歯科医師会 常務理事
大 島 修 一	(一社)埼玉県歯科医師会 前会長
北 村 晃	(公社)東京都歯科医師会 会長
良 知 義 弘	(一社)静岡県歯科医師会 前副会長
橋 本 芳 紀	(一社)兵庫県歯科医師会 会長
橋 本 成 人	(一社)愛媛県歯科医師会 前会長
脇 田 晴 彦	(一社)大分県歯科医師会 前会長
森 野 隆	(公社)日本歯科技工士会
長 沼 善 美	(公社)日本学校歯科医会
渡 辺 啓 介	(一社)日本歯科商工協会
横 手 弘 宣	ライオン(株)
依 田 裕 希	パナソニック(株)
岡 林 一 登	(株)ロッテ
鏑 溝 和 子	(公社)母子保健推進会議
三 橋 裕 行	(一社)日本家族計画協会 代表理事
植 村 大 輔	(公財)母子衛生研究会
下 浦 佳 之	(公社)日本栄養士会
田 中 久美子	(一財)日本食生活協会
松 谷 有希雄	(一財)日本公衆衛生協会

6. 事務局

職員4名 嘱託1名

7. 賛助会員 (令和8年3月31日現在)

A会員 (歯科医師会) 248 歯科医師会
日本歯科医師会(1)、都道府県歯科医師会(47)、郡市区歯科医師会(200)

B会員 (団体・会社) 35 団体・会社

○団体

日本歯科衛生士会、日本歯科技工士会、日本学校歯科医会、日本歯科器械工業協同組合、
日本歯科材料工業協同組合、日本歯科用品卸商業組合、日本歯科用品輸入協会、
日本歯材同友会、日本歯科用品商協同組合連合会、日本歯磨工業会 他(13団体)

○企業

サンスター(株)、ライオン(株)、(株)ロッテ、パナソニック(株)、(株)ジーシー昭和薬品、
デンタルプロ(株)、アサヒプリテック(株) 他(22社)

C会員 (個人) 203名

○歯科医師(103名)

○歯科医師以外の個人(100名)

8. 会 議

(1) 理事会

① 第8回理事会

開催日時 令和7年5月28日(水) 午前11時~同12時

場 所 東京都千代田区九段北4丁目1番20号 歯科医師会館3階東京都歯科医師会会議室

出席者 出席理事数 理事会開始時19名、3の報告の途中から20名、第1号議案の途中から21名、出席監事数2名

出席した理事の氏名

高橋英登(第1号議案途中から)、蓮池芳浩、小林慶太、小玉 剛、山本秀樹、寺島多実子、近藤太郎(3の報告の後から)、飯島勝矢、伊藤明彦、住友雅人、田口円裕、柘植紳平、西永英司、山本美登里、山中一剛、吉田直美

Web会議により出席した理事の氏名

三代知史、芦谷浩明、上野尚雄、前田真理子、丸山博之

出席した監事の氏名

熊澤榮三、酒井昭則

欠席者 欠席理事数4名

欠席した理事の氏名

吉岡貴司、小林隆太郎、谷 征大、中原 賢

議長の指名

理事会開始から第1号議案まで、理事会運営規則第6条第2項の規定に基づき、出席した理事から互選された蓮池副理事長が議長にあたり、第2号議案から、定款第39条の規定に基づき、高橋英登理事長が議長に当たった。

理事会の議事の経過の要領及びその結果

会議の成立

冒頭で小玉専務理事が理事総数25名のうち過半数の19名の出席を確認し、定足数の充足を報告。定款第40条「理事会は、理事の過半数の出席がなければ会議を開くことができない。」を満たしているため、議長が本会議の成立を宣した。

また本理事会はWeb会議システムを使用して開催する理事会であること、出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、適宜的確な意思表示が互いに行える仕組みとなっていることを確認し、議案の審議に入った。なお、この状態は本会終結の時まで継続した。

1. 開会の辞

副理事長 蓮池芳浩

2. 挨拶

理事長 高橋英登

(ただし、第1号議案終了後に行われた)

3. 報告

議長の求めに応じ、理事より以下の職務執行報告が行われた。

(1) 会務報告

議長の求めに応じ、小玉専務理事より会務現況として、以下の事項について報告がなされた。

①第7回理事会の開催、②第28回評議員会の開催、③監事会の開催、④会誌「8020」の発行、⑤国民向け啓発小冊子の作成・配布、⑥令和7年度8020運動ポスター募集、⑦理事長賞の贈呈、⑧噛むカムチェックガムを用いた8020普及啓発事業、⑨ロゴマークの普及事業、⑩調査研究事業、⑪助成事業（歯科保健活動助成事業・8020公募研究助成事業、公募研究課題の論文作成状況アンケート）、⑫後援等名義使用の許可、⑬ホームページの整備、⑭歯科口腔保健法の制定及び歯科保健条例の制定マップ、⑮8020アンケート・プレゼントキャンペーン（第15弾）、⑯会員レターの発行

(2) その他

4. 議 事

第1号議案 令和6年度事業報告及び収支決算について

定款第10条第1項「本財団の事業報告及び決算は、毎事業年度終了後、理事長が事業報告書及び計算書類並びにこれらの付属明細書、財産目録として作成し、監事の監査を受け、理事会において承認を経たうえで、定時評議員会の承認を得るものとする。」の規定により、令和7年6月18日開催の第29回評議員会にて諮る旨提案がなされた。

小玉専務理事より令和6年度事業報告について、山本常務理事より令和6年度収支決算について、貸借対照表、正味財産増減計算書、付属明細書、財産目録に関して、資料に基づき説明がなされた。また、公益事業において剰余金が生じているため、これを特定費用準備資金として積立て、将来にわたって計画的に当該公的目的事業の事業費に充てていくことが説明されたのち、熊澤監事より監査報告が行われ、全員異議なく承認した。

第2号議案より高橋英登理事長が議長に当たった。

第2号議案 評議員辞任に伴う後任評議員の選任について

小玉専務理事より、定款第13条第1項「評議員の選任及び解任は、評議員会において行う」の規定により、以下のとおり評議員辞任に伴う後任の評議員を令和7年6月18日開催の第29回評議員会において選任する旨の提案がなされ、全員異議なく承認した。

なお、任期は定款第14条第2項「任期の満了前に退任した評議員の補欠として選任された評議員の任期は、退任した評議員の任期の満了する時までとする。」の規定により、前任者の任期満了時の令和9年6月開催予定の定時評議員会終結時までとする。

辞任評議員	後任評議員候補者
川治 久邦 パナソニック株式会社 ビューティ・パーソナルケア事業部 パーソナルブランドマネジメント部長	依田 祐希 パナソニック株式会社 ビューティ・パーソナルケア事業部 パーソナルBU パーソナルBM部 オーラル商品企画総括
斎藤 秀子 公益社団法人日本学校歯科医会 副会長	長沼 善美 公益社団法人日本学校歯科医会 専務理事

第3号議案 理事の選任について

小玉専務理事より、定款第27条第1項「理事及び監事は、評議員会の決議によって選任する」の規定により、以下の通り理事を令和7年6月18日開催の第29回評議員会において選任する旨の提案がなされ、全員異議なく承認した。

なお、任期は定款第30条第1項「理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度の

うち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとし、再任を妨げない」の規定により令和9年6月開催予定の定時評議員会終結時までとする。

◇理事候補者（五十音順、24名）

理事	飯島 勝矢	東京大学高齢社会総合研究機構 機構長
理事	伊藤 明彦	(公社)日本歯科医師会 常務理事
理事	小野寺 哲夫	(公社)日本歯科医師会 常務理事
理事	小林 慶太	(公社)日本歯科医師会・日本歯科総合研究機構研究員
理事	小林 隆太郎	日本歯科医学会 副会長
理事	近藤 太郎	近藤医院 院長
理事	坂ノ下 典正	(株)ロッテ 広報部 噛むことPR課 課長
理事	杉岡 伸悟	(一社)兵庫県歯科医師会 常務理事
理事	瀬古口 精良	(公社)日本歯科医師会 専務理事
理事	高橋 英登	(公社)日本歯科医師会 会長
理事	高柳 篤史	東京歯科大学衛生学講座 客員教授
理事	田口 円裕	東京歯科大学歯科医療政策学 教授
理事	谷 征大	(株)ロッテ 中央研究所 チューニング研究部部長
理事	柘植 紳平	(公社)日本学校歯科医会 会長
理事	辻坂 智矢	(一社)大阪府歯科医師会 副会長
理事	中西 孝紀	(一社)和歌山県歯科医師会 会長
理事	中原 賢	日本歯科大学 副学長
理事	西永 英司	ライオン(株) 執行役員 サステナビリティ推進部 部長
理事	前田 真理子	サンスター (株) 研究開発統括部 ヘルス&ビューティー研究開発部 副部長
理事	丸山 博之	サンスター(株)プロケアチャンネル営業部 学術情報グループ長
理事	山中 一剛	(一社)日本歯科商工協会 会長
理事	山本 秀樹	(公社)日本歯科医師会 常務理事
理事	吉岡 貴司	サンスター(株) 取締役副会長
理事	吉田 直美	(公社)日本歯科衛生士会 会長

第4号議案 外部理事の選任について

小玉専務理事より、定款第27条第1項「理事及び監事は、評議員会の決議によって選任する」の規定ならびに公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第15号により、以下の通り外部理事を令和7年6月18日開催の第29回評議員会において選任する旨の提案がなされ、全員異議なく承認した。

なお、任期は定款第30条第1項「理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとし、再任を妨げない」の規定により令和9年6月開催予定の定時評議員会終結時までとする。

◇外部理事候補者

外部理事 坂田 香里 天王洲パークサイドビル歯科 院長

第5号議案 監事の選任について

小玉専務理事より、定款第27条第1項「理事及び監事は、評議員会の決議によって選任する」の規定により、以下のとおり監事を令和7年6月18日開催の第29回評議員会において選任する旨の提案がなされ、全員異議なく承認した。

なお、任期は定款第30条第2項「監事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度の

うち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとし、再任を妨げない」の規定により令和9年6月開催予定の定時評議員会終結時までとする。

◇監事候補者

監事 酒井 昭則 (一社)岡山県歯科医師会 顧問

第6号議案 外部監事の選任について

小玉専務理事より、定款第27条第1項「理事及び監事は、評議員会の決議によって選任する」の規定ならびに公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第16号により、以下のとおり外部監事を令和7年6月18日開催の第29回評議員会において選任する旨の提案がなされ、全員異議なく承認した。

なお、任期は定款第30条第2項「監事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとし、再任を妨げない」の規定により令和9年6月開催予定の定時評議員会終結時までとする。

◇外部監事候補者

外部監事 片桐 春美 片桐春美公認会計士事務所 代表

第7号議案 第29回評議員会の開催について

小玉専務理事より、定款第36条理事会の権限第1項「評議員会の日時及び場所並びに目的である事項の決定」の規定により、以下のとおり第29回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項について提案がなされ、全員異議なく承認した。

公益財団法人8020推進財団
第29回 評議員会議事次第

日 時 令和7年6月18日(水) 午後2時
場 所 歯科医師会館 3階東京都歯科医師会会議室 (WEB併用)

1. 開会の辞
2. 議長の選出
3. 議事録署名人の選任
4. 挨拶
5. 報告
(1) 会務報告
(2) その他
6. 議 事
第1号議案 令和6年度事業報告及び収支決算について
第2号議案 評議員辞任に伴う後任評議員の選任について
第3号議案 理事の選任
第4号議案 外部理事の選任
第5号議案 監事の選任
第6号議案 外部監事の選任

7. 協 議

(1) 第23回フォーラム8020について

(2) その他

8. 閉会の辞

第8号議案 令和7年度歯科保健活動事業の採択及び助成交付額について

小林副理事長より、地域歯科保健活動への助成事業として地域歯科保健活動推進委員会より報告のあった審査結果に基づき、令和7年度歯科保健活動事業を採択し、助成交付を行う旨の説明がなされ全員意義なく承認した。なお、審議対象の東京都東久留米市歯科医師会の会長である小玉専務理事、東京都立川市歯科医師会の顧問である山本常務理事は「特別の利害関係を有する理事」に該当するため、議決に参加していない。

第9号議案 令和7年度公募研究課題の採択及び助成交付額について

山本常務理事より、8020達成のための歯科保健に係わる公募研究に対する助成事業として8020調査研究委員会より報告のあった審査結果に基づき、令和7年度公募研究課題を採択し、助成交付を行う旨の説明がなされ、全員異議なく承認した。なお、審議対象のサンスター株式会社の所属である前田理事、丸山理事、東京科学大学歯学部口腔保健学科の学科長である吉田理事は「特別の利害関係を有する理事」に該当するため、議決に参加していない。

第10号議案 令和7年度 指定研究事業について

山本常務理事より、8020運動の推進に必要な調査及び研究に関する事業として、小川祐司・新潟大学大学院医歯学総合研究科教授「8020 達成が超高齢期のNCDs 発症予防、フレイル対応、QOL に及ぼす影響について」を令和7年度指定研究に選定し、190.5 万円の研究助成を行う旨の提案がなされ、賛成挙手多数により承認された。

5. 協 議

(1) 第23回フォーラム8020について

小林副理事長より、第23回フォーラム8020の企画案について説明がなされた後、意見交換がなされた。

(2) その他

6. 閉会の辞

副理事長 小林 慶 太

議事録署名人

理 事 長	高 橋	英 登
監 事	熊 澤	榮 三
監 事	酒 井	昭 則

② 第1回理事会

開催日時 令和7年6月18日(水) 午後3時30分～同4時30分

場 所 東京都千代田区九段北4丁目1番20号 歯科医師会館701会議室

出席者 出席理事数21名 出席監事数2名

出席した理事の氏名

飯島勝矢、伊藤明彦、小野寺哲夫、小林慶太、小林隆太郎、近藤太郎、坂田香里、坂ノ下典正、杉岡伸悟、瀬古口精良、高橋英登（第1号議案まで）、田口円裕、辻坂智矢、中原賢、西永英司、前田真理子、丸山博之、山中一剛、山本秀樹、吉岡貴司

Web会議により出席した理事の氏名

高柳篤史

出席した監事の氏名

片桐春美、酒井昭則

欠席者 欠席理事数4名

欠席した理事の氏名

谷征大、柘植伸平、中西孝紀、吉田直美

会議の成立

開会に先立ち、瀬古口理事より理事会の召集手続きの省略について、定款第38条第5項「前項の規定にかかわらず、理事及び監事の全員の同意があるときは、招集の手続を経ることなく理事会を開催することができる。」に基づき、本理事会の開催について理事・監事全員の同意を得ていることが報告された。

その後、理事総数25名のうち過半数の21名の出席を確認し、定足数の充足を報告。定款第40条「理事会は、理事の過半数の出席がなければ会議を開くことができない。」を満たしているため本会議の成立を宣した。

なお、「定款39条により理事会の議長は理事長がこれに当たる。」となっており新理事長が決まるまでの間、暫時仮議長を務めることについて提案され全員異議無く了承された。

理事会の議事の経過の要領及びその結果

瀬古口理事より日程の一部を変更し日程4. 議事の第1号議案「代表理事の選定」について、定款第27条第2項「代表理事及び業務執行理事は、理事会の決議によって理事の中から選定する。」の規定により、高橋理事を代表理事に選定する旨、提案があり全員異議なく承認し、定款第39条第1項に基づき高橋英登理事長が議長に当たった。なお、高橋理事長が退席した第2号議案以降は、理事会運営規則第6条第2項の規定に基づき、出席した理事から互選された小林副理事長が議長に当たった。

1. 開会の辞 小 林 慶 太

2. 挨拶 高 橋 英 登

3. 自己紹介

各理事により自己紹介が行われた。

4. 議 事

第1号議案 代表理事の選定

瀬古口理事より、定款第27条第2項「代表理事及び業務執行理事は、理事会の決議に

よって理事の中から選定する。」の規定により、以下の通り代表理事を選定する旨、提案があり全員異議なく承認した。

なお、被選定者は代表理事の就任を承諾した。

代表理事 高橋 英登 理事長

第2号議案 業務執行理事の選定

瀬古口理事より、定款第27条第2項「代表理事及び業務執行理事は、理事会の決議によって理事の中から選定する。」の規定により、以下の通り業務執行理事を選定する旨、提案があり全員異議なく承認した。

業務執行理事	吉岡 貴司	副理事長
同	瀬古口 精良	副理事長
同	小林 慶太	副理事長
同	山本 秀樹	専務理事
同	伊藤 明彦	常務理事
同	小野寺 哲夫	常務理事
同	近藤 太郎	常務理事
同	辻坂 智矢	常務理事

第3号議案 各種委員会委員の選任

瀬古口副理事長より、本財団の定款ならびに、委員会規程、8020調査研究委員会規程、ポスター審査会規程、調査研究事業等検討会の規定により、以下の委員会の委員を選任する旨、提案があり、全員異議無く承認した。なお、任期は令和7年7月1日より2年とする。

- ・会誌編集委員会
- ・地域歯科保健活動推進委員会
- ・広報委員会
- ・8020調査研究委員会
- ・ポスター審査会
- ・調査研究事業等検討会

第4号議案 専務理事の事務局長代行について

瀬古口副理事長より、本財団定款53条第3項「事務局長及び職員は、理事長が任免する。ただし、事務局長等重要な職員は、予め理事会の承認を得ることとする。」、また、事務処理規則第3条第2項「事務局長は、理事会の議を経て専務理事が代行することができる。」の規定により、山本専務理事が事務局長を代行する旨、提案があり、全員異議無く承認した。

第5号議案 第30回評議員会の開催について

瀬古口副理事長より、定款第36条理事会の権限第1項「評議員会の日時及び場所並びに目的である事項の決定」の規定により、以下のとおり第30回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項について提案がなされ、全員異議なく承認した。

公益財団法人8020推進財団

第30回 評議員会議事次第

日 時 令和7年10月22日（水）午後2時

場 所 歯科医師会館 会議室

1. 開会の辞
2. 議長の選出
3. 議事録署名人の選任
4. 挨拶
5. 報告
 - ①理事・監事について
 - ②令和7年度の取り組みについて
 - ③フォーラム8020について
6. 協議
7. 閉会の辞

5. 報告

- (1) 8020推進財団の組織体制
- (2) 令和7年度事業計画
- (3) 令和7年度予算書
- (4) ロゴマーク使用許可審査委員会委員一覧
- (5) 財産運用責任者について

小林副理事長より、財産管理運用規程第3条に「財産運用責任者は理事長が指名する」とあることから、財産運用責任者は高橋理事長が後日指名し、第2回理事会にて報告する旨説明があった。

- (6) 嘱託等一覧

6. 協議

- (1) フォーラム8020について

小林副理事長より令和7年度のフォーラム8020の開催日時・場所・テーマ等について説明がなされ、意見交換を行った。

- (2) その他

7. 連絡事項

第2回理事会の開催日時について山本専務理事より周知がなされた。

8. 閉会の辞

吉岡 貴司

議事録署名人

理事長	高橋	英登
監事	酒井	昭則
監事	片桐	春美

③ 第2回理事会

開催日時 令和7年10月22日(水) 午後1時30分～同2時

場 所 東京都千代田区九段北4丁目1番20号 歯科医師会館701・702会議室

出席者 出席理事数21名 出席監事数2名

出席した理事の氏名

高橋英登、吉岡貴司、瀬古口精良、小林慶太、山本秀樹、伊藤明彦、小野寺哲夫、
近藤太郎、辻坂智矢、高柳篤史、坂田香里、田口円裕、柘植伸平、中原賢、
前田真理子、山中一剛、吉田直美

Web会議により出席した理事の氏名

杉岡伸悟、谷征大、西永英司、丸山博之

出席した監事の氏名

酒井昭則、片桐春美

欠席者 欠席理事数2名

欠席した理事の氏名

飯島勝矢、小林隆太郎、坂ノ下典正、中西孝紀

議長の氏名

定款第39条の規定に基づき、高橋英登理事長が議長に当たった。

会議の成立

冒頭で山本専務理事が理事総数25名のうち過半数の21名の出席を確認し、定足数の充足を報告。定款第40条「理事会は、理事の過半数の出席がなければ会議を開くことができない。」を満たしているため、議長が本会議の成立を宣した。

また本理事会はWeb会議システムを使用して開催する理事会であること、出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、適宜的確な意思表示が互いにできる仕組みとなっていることを確認し、議案の審議に入った。

1. 開会の辞 副理事長 瀬古口 精 良

2. 挨拶 理事長 高 橋 英 登

3. 報 告

(1) 会務報告

議長の求めに応じ、山本専務理事より会務現況として、以下の事項について報告がなされた。

①第8回理事会の開催、②第29回評議員会の開催、③第1回理事会の開催、④第23回フォーラム8020、⑤噛むカムチェックガムを用いた8020普及啓発事業、⑥ロゴマークの普及事業、⑦調査研究事業、⑧令和7年度歯科保健活動事業報告会・公募研究発表会(令和5年度報告より)、⑨後援等名義使用の許可、⑩ホームページの整備、⑪歯科口腔保健法の制定及び歯科保健条例の制定マップ、⑫会員レターの発行

(2) 財産運用管理者について

議長より財産管理運用規程第3条「財産運用責任者は理事長が指名する。」に基づき、本執行部発足後、山本専務理事を財産運用責任者に指名し対応していることについて報告がなされた。

(3) フォーラム8020について

議長の求めに応じ、小林副理事長より令和7年度のフォーラム8020の開催日時・場

所・テーマ等について報告がなされた。

(4) その他

4. 議 事

第1号議案 指定研究事業 要綱（内規）の一部改正

小林副理事長より、最近の物価上昇や調査研究の大規模化に対応するべく、指定研究事業要綱（内規）の年間上限額の見直しを行う旨、提案があり全員意義なく承認した。

改正条文案	現行条文
6. 研究費用 上限500万円。(年間) ・研究計画の遂行に必要な経費及び研究成果の取りまとめに必要な経費。	6. 研究費用 上限200万円。(年間) ・研究計画の遂行に必要な経費及び研究成果の取りまとめに必要な経費。

第2号議案 指定研究事業 研究課題の追加指定について

小林副理事長より、8020運動の推進に必要な調査及び研究に関する事業として、相田潤・東京科学大学大学院医歯学総合研究科歯科公衆衛生学分野教授「働く人々のストレスと口腔の健康の研究」を令和7年度指定研究に選定し、450万円の研究助成を行う旨の提案がなされ、全員異議なく承認した。

5. 協 議

(1) 第75回日本口腔衛生学会 学術大会 8020運動についてのシンポジウム提案について

小林副理事長より8020推進財団の今までの対応とこれからの課題、今後の8020運動の展開について考えるべく、第75回日本口腔衛生学会学術大会においてシンポジウム開催を提案することについて説明がなされ、意見交換を行った。

(2) その他

山本専務理事より第30回評議員会の運営について説明がなされた。

6. 閉会の辞

副理事長 吉岡 貴 司

議事録署名人

理 事 長 高 橋 英 登
監 事 酒 井 昭 則
監 事 片 桐 春 美

④第3回理事会

開催日時 令和8年2月12日（木）午後2時～同3時

場 所 東京都千代田区九段北4丁目1番20号 歯科医師会館801・802会議室

出席者 出席理事数21名 出席監事数2名

出席した理事の氏名

高橋英登、吉岡貴司、瀬古口精良、小林慶太、山本秀樹、伊藤明彦、小野寺哲夫、辻坂智矢、小林隆太郎、坂田香里、坂ノ下典正、高柳篤史、田口円裕、中原賢、西永英司、前田真理子

Web会議により出席した理事の氏名

近藤太郎、飯島勝矢、杉岡伸悟、谷征大、丸山博之

出席した監事の氏名

酒井昭則、片桐春美

欠席者 欠席理事数3名

欠席した理事の氏名

柘植伸平、中西孝紀、山中一剛

議長の氏名

定款第39条の規定に基づき、高橋英登理事長が議長に当たった。

会議の成立

冒頭で山本専務理事が理事総数24名のうち過半数の21名の出席を確認し、定足数の充足を報告。定款第40条「理事会は、理事の過半数の出席がなければ会議を開くことができない。」を満たしているため、議長が本会議の成立を宣した。

また本理事会はWeb会議システムを使用して開催する理事会であること、出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、適宜的確な意思表示が互いにできる仕組みとなっていることを確認し、議案の審議に入った。

1. 開会の辞 副理事長 瀬古口 精 良

2. 挨拶 理 事 長 高 橋 英 登

3. 報 告

(1) 会務報告

議長の求めに応じ、山本専務理事より会務現況として、以下の事項について報告がなされた。

①第2回理事会の開催、②第30回評議員会の開催、③会誌「8020」の発行、④国民向け啓発小冊子の作成・配布、⑤第23回フォーラム8020、⑥8020運動ポスター、⑦理事長賞の贈呈、⑧噛むカムチェックガムを用いた8020普及啓発事業、⑨調査研究事業、⑩助成事業、⑪指定研究事業、⑫令和7年度歯科保健活動事業報告会・公募研究発表会（令和5年度報告より）、⑬後援等名義使用の許可、⑭ホームページの整備、⑮歯科口腔保健法の制定及び歯科保健条例の制定マップ、⑯8020アンケート・プレゼントキャンペーン（第16弾）、⑰その他：ガバナンス強化・会計監査の整備

(2) その他

4. 議 事

第1号議案 評議員辞任に伴う後任評議員の選任について

山本専務理事より、定款第13条第1項「評議員の選任及び解任は、評議員会において行う」の規定により、以下のとおり評議員辞任に伴う後任の評議員を令和8年3月4日開催の第31回評議員会において選任する旨の提案がなされ、全員異議なく承認した。

なお、任期は定款第14条第2項「任期の満了前に退任した評議員の補欠として選任された評議員の任期は、退任した評議員の任期の満了する時までとする」の規定により、前任者の任期満了時の令和9年6月開催予定の定時評議員会終結時までとする。

辞任評議員	後任評議員候補者
井上 恵司 公益社団法人東京都歯科医師会 前会長	北村 晃 公益社団法人東京都歯科医師会 会長
満武 純 ライオン株式会社 シニアフェロー	横手 弘宣 ライオン株式会社 グローバルオーラル ヘルスケア事業開発センター 部長
森 亨 一般財団法人日本公衆衛生協会 前会長	松谷 有希雄 一般財団法人日本公衆衛生協会 会長

第2号議案 理事辞任に伴う後任理事の選任について

山本専務理事より、定款第27条第1項「理事及び監事は、評議員会の決議によって選任する」の規定により、以下のとおり理事辞任に伴う後任の理事を令和8年3月4日開催の第31回評議員会において選任する旨の提案がなされ、全員異議なく承認した。

なお、任期は定款第30条第3項「補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする」の規定により、前任者の任期満了時の令和9年6月開催予定の定時評議員会終結時までとする。

辞任理事	後任理事候補者
吉田 直美 公益社団法人日本歯科衛生士会 前会長	武藤 智美 公益社団法人日本歯科衛生士会 会長

第3号議案 第31回評議員会の開催について

山本専務理事より、定款第36条理事会の権限第1項「評議員会の日時及び場所並びに目的である事項の決定」の規定により、以下のとおり第31回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項について提案がなされ、全員異議なく承認した。

公益財団法人8020推進財団 第31回 評議員会議事次第	
日 時	令和8年3月4日(水) 午前11時
場 所	歯科医師会館 1階大会議室 (WEB併用)
1. 開会の辞 2. 議長の選出 3. 議事録署名人の選任 4. 挨拶 5. 報告 (1) 会務報告 (2) 令和8年度賛助会費の額 (3) 令和8年度事業計画及び収支予算 (4) 資金調達及び設備投資の見込みについて (5) 公益充実資金取扱等規程について (6) その他	

6. 議 事

第1号議案 評議員辞任に伴う後任評議員の選任について

第2号議案 理事辞任に伴う後任理事の選任について

7. 協 議

(1) 第24回フォーラム8020について

(2) その他

8. 閉会の辞

第4号議案 令和8年度賛助会費の額

伊藤常務理事より、令和8年度の賛助会費の額を令和7年度と同額とする旨、提案がなされ、全員異議なく承認した。

第5号議案 令和8年度事業計画及び収支予算

山本専務理事より、事業計画の基本方針、事業内容について資料に基づき提案がなされた後、伊藤常務理事より、令和8年度収支予算について以下の通り提案がなされ、全員異議なく承認した。

令和8年度収支予算は公益法人会計基準に則り作成し、経常収益計は121,690,000円、経常費用計は129,525,000円、当期経常増減額は△7,835,000円。経常外増減の部の増減はなし、指定正味財産の増減の部の増減はなし、当期一般正味財産増減額は△7,835,000円、正味財産期末残高は732,757,854円となる。

また、損益計算ベースは収支予算書を基に、OAG税理士法人の指導を受けて公益法人会計基準に則り作成している。この損益計算ベースは、「減価償却費」及び「退職給付引当金」（但しゼロ円）についての記載もある。内閣府への報告は、この損益計算ベースの収支予算をもって行う。

第6号議案 資金調達及び設備投資の見込みについて

山本常務理事より、令和8年4月1日から令和9年3月31日までの見込みについて、以下の通り提案され、全員異議なく承認した。

資金調達の見込みについては、当期中における金融機関からの借り入れの予定はない。

設備投資の見込みについては当期中における重要な設備投資（除却又は売却を含む。）の予定はない。

令和8年度事業は令和7年度事業を基本的に踏襲し実施することとしており、新規事業における「資金調達及び設備投資の見込みについて」は特に発生しない。

第7号議案 令和7年度 調査研究事業健診業務委託費の理事に対する支払いについて

小林副理事長より、今年度に埼玉県幸手市で実施した調査研究事業「8020の実態把握に関するパイロット調査」については、健診業務を委託した一般社団法人幸手市歯科医師会会員に対して業務委託費を支払うこととしている。本事業において、業務委託先に本財団の高柳篤史理事（幸手市歯科医師会会員）が含まれており、定款第33条「理事が次に掲げる取引をしようとする場合は、その取引について重要な事実を開示し、理事会の承認を得なければならない」に基づき、高柳理事が従事した健診委託業務の事実を資料で開示の上、高柳理事へ業務委託費を支払うことについての提案がなされ、賛成挙手多数により承認された。

なお、高柳理事は利害関係者の立場であるため、法人法第95条第2項の定めにより、議決に参加していない。

第8号議案 公益充実資金等取扱規程について

令和7年4月の「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の一部を改正する法律」の施行に伴い、従来の公益目的事業に係る特定費用準備資金と資産取得資金が統合され、将来の公益目的事業の発展・拡充のために資金活用の柔軟性を高めた仕組みとして「公益充実資金」が創設された。これに伴い、山本専務理事より、本財団における公益充実資金等の取扱いに関する規程を設け、管理・運用する旨、提案があり全員意義なく承認した。

これに伴い「特定費用準備資金等取扱規程」は廃止することを合わせて承認した。

第9号議案 令和8年度 指定研究事業について

小林副理事長より、8020運動の推進に必要な調査及び研究に関する事業として、小川祐司・新潟大学大学院医歯学総合研究科口腔健康科学講座予防歯科学分野教授「8020達成が超高齢期のNCDs発症予防、フレイル対応、QOLに及ぼす影響について」を令和8年度指定研究に選定し、104万円の研究助成を行う旨の提案がなされ、全員異議なく承認した。

5. 協 議

(1) 第24回フォーラム8020について

小林副理事長より、令和8年度に開催する第24回フォーラム8020の企画について説明がなされた後、議長の求めに応じ意見交換がなされた。

(2) その他

6. 閉会の辞

副理事長 吉岡 貴司

議事録署名人

理事長	高橋	英登
監事	酒井	昭則
監事	片桐	春美

(2) 評議員会

① 第29回評議員会

日時：令和7年6月18日（水）午後2時～同3時

場所：東京都千代田区九段北4丁目1番20号 歯科医師会館3階東京都歯科医師会会議室

出席者：出席評議員数15名 出席理事数21名 出席監事数2名

出席した評議員の氏名

齋藤秀子（議事まで）、渡辺啓介、渡邊浩次、満武 純、鎌溝和子、田中久美子

Web 会議により出席した評議員の氏名

藤田 純、大島修一、井上恵司（報告まで）、良知義弘、橋本芳紀、脇田晴彦、森野 隆、植村大輔、下浦佳之

出席した理事の氏名

高橋英登、吉岡貴司、蓮池芳浩、小林慶太、小玉 剛、山本秀樹、寺島多実子、三代知史、近藤太郎、飯島勝矢、伊藤明彦、小林隆太郎、住友雅人、田口円裕、中原 賢、西永英司、前田真理子、丸山博之、山本美登里、山中一剛

Web 会議により出席した理事の氏名

上野尚雄

出席した監事の氏名

熊澤榮三、酒井昭則

欠席者：欠席評議員5名 欠席理事数4名

欠席した評議員の氏名

橋本成人、川治久邦、岡林一登、三橋裕行、森 亨

欠席した理事の氏名

芦谷浩明、谷 征大、柘植紳平、吉田直美

議長の氏名

定款第21条の規定に基づき、満武 純評議員が議長に当たった。

議事録署名人：渡邊浩次、田中久美子

評議員会の議事の経過の要領及びその結果

○会議の成立

開会に先立ち、小玉専務理事より日程の一部を変更し、定款第21条「評議員会の議長は、その評議員会において、出席した評議員の中から選出する。」の規定に基づき、議長を執行部一任のもと選出する旨が提案され、満武評議員が議長に選出された。

議長が出席者数を確認し、評議員総数20名のうち過半数の15名が出席となり、定款第22条「評議員会は、評議員の過半数の出席がなければ開催することができない。」を満たしている旨を報告し、開会を宣した。

また本評議員会はWeb会議システムを使用して開催する評議員会であること、出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、適宜的確な意思表示が互いにできる仕組みとなっていることを確認し、議案の審議に入った。

1. 開会の辞 副理事長 蓮池 芳浩

2. 議長の選出
小玉専務理事より定款第21条の規定に基づき、満武評議員を議長に選出したい旨、提案があり、全員異議なく承認した。

3. 議事録署名人の選任
小玉専務理事より定款第24条第2項「議事録には、議長及びその会議において選任された議事録署名人2人以上が、署名、押印をしなければならない。」の規定に基づき山中評議員、渡邊評議員を選任したい旨、提案があり全員異議なく承認した。

4. 挨拶 理事長 高橋 英登

5. 報告
(1) 小玉専務理事より、会務現況として以下の事項について報告がなされた。

①第28回評議員会の開催、②第7回理事会の開催、③第8回理事会の開催、④監事会の開催、⑤会誌「8020」の発行、⑥国民向け啓発小冊子の作成・配布、⑦令和7年度8020運動ポスター募集、⑧理事長賞の贈呈、⑨噛むカムチェックガムを用いた8020普及啓発事業、⑩ロゴマークの普及事業、⑪調査研究事業、⑫助成事業（歯科保健活動助成事業、8020公募研究助成事業、公募研究課題の論文作成状況ア

ンケート)、⑬指定研究事業、⑭後援等名義使用の許可、⑮ホームページの整備、⑯歯科口腔保健法の制定及び歯科保健条例の制定マップ、⑰8020アンケート・プレゼントキャンペーン(第15弾)、⑱会員レターの発行

(2) その他

6. 議 事

第1号議案 令和6年度事業報告及び収支決算について

定款第10条第1項「本財団の事業報告及び決算は、毎事業年度終了後、理事長が事業報告書及び計算書類並びにこれらの附属明細書、財産目録として作成し、監事の監査を受け、理事会において承認を経たうえで、定時評議員会の承認を得るものとする」の規定に基づき、小玉専務理事より令和6年度事業報告について、山本常務理事より令和6年度収支決算について、貸借対照表、正味財産増減計算書、附属明細書、財産目録に関して資料に基づき説明がなされ、熊澤監事より監査報告が行われたのち、全員異議なく承認した。

第2号議案 評議員辞任に伴う後任評議員の選任について

小玉専務理事より、定款第13条第1項「評議員の選任及び解任は、評議員会において行う」の規定により、以下のとおり辞任に伴い後任の評議員を選任する旨の説明がなされ全員異議なく承認した。

なお、任期は定款第14条第2項「任期の満了前に退任した評議員の補欠として選任された評議員の任期は、退任した評議員の任期の満了する時までとする」の規定により、前任者の任期満了時の令和9年6月開催予定の定時評議員会終結時までとする。

辞任評議員	後任評議員候補者
川治 久邦 パナソニック株式会社	依田 祐希 パナソニック株式会社
斎藤 秀子 公益社団法人日本学校歯科医会	長沼 善美 公益社団法人日本学校歯科医会

第3号議案 理事の選任の件

小玉専務理事より、定款第27条第1項「理事及び監事は、評議員会の決議によって選任する」の規定により、以下の通り理事を選任する旨、説明がなされ全員異議なく承認した。

なお、任期は定款第30条第1項「理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとし、再任を妨げない」の規定により令和9年6月開催予定の定時評議員会終結時までとする。

◇理事の選任(五十音順、24名)

理事 飯島 勝矢 東京大学高齢社会総合研究機構
理事 伊藤 明彦 (公社)日本歯科医師会
理事 小野寺 哲夫 (公社)日本歯科医師会
理事 小林 慶太 (公社)日本歯科医師会・日本歯科総合研究機構
理事 小林 隆太郎 日本歯科医学会
理事 近藤 太郎 近藤医院 院長
理事 坂ノ下 典正 (株)ロッテ

理事	杉岡	伸悟	(一社)兵庫県歯科医師会
理事	瀬古口	精良	(公社)日本歯科医師会
理事	高橋	英登	(公社)日本歯科医師会
理事	高柳	篤史	東京歯科大学衛生学講座
理事	田口	円裕	東京歯科大学歯科医療政策学
理事	谷	征大	(株)ロッテ
理事	柘植	紳平	(公社)日本学校歯科医会
理事	辻坂	智矢	(一社)大阪府歯科医師会
理事	中西	孝紀	(一社)和歌山県歯科医師会
理事	中原	賢	日本歯科大学
理事	西永	英司	ライオン(株)
理事	前田	真理子	サンスター(株)
理事	丸山	博之	サンスター(株)
理事	山中	一剛	(一社)日本歯科商工協会
理事	山本	秀樹	(公社)日本歯科医師会
理事	吉岡	貴司	サンスター(株)
理事	吉田	直美	(公社)日本歯科衛生士会

第4号議案 外部理事の選任の件

小玉専務理事より、定款第27条第1項「理事及び監事は、評議員会の決議によって選任する」の規定ならびに公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第15号により、以下の通り外部理事を選任する旨、説明がなされ全員異議なく承認した。

なお、任期は定款第30条第1項「理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとし、再任を妨げない」の規定により令和9年6月開催予定の定時評議員会終結時までとする。

◇外部理事の選任

理事 坂田 香里 天王洲パークサイドビル歯科 院長

第5号議案 監事選任の件

小玉専務理事より、本定時評議員会終結の時をもって監事全員の任期が満了するので、定款第27条第1項「理事及び監事は、評議員会の決議によって選任する」の規定により、以下の通り監事を選任する旨、説明がなされ全員異議なく承認した。

なお、任期は定款第30条第2項「監事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする」の規定により令和9年6月開催予定の定時評議員会終結時までとする。

◇監事の選任

監事 酒井 昭則 (一社)岡山県歯科医師会 顧問

第6号議案 外部監事選任の件

小玉専務理事より、本定時評議員会終結の時をもって監事全員の任期が満了するので、定款第27条第1項「理事及び監事は、評議員会の決議によって選任する」の規定ならびに公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第16号により、以下のとおり外部監事を選任する旨、説明がなされ全員異議なく承認した。

なお、任期は定款第30条第2項「監事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする」の規定により令和

9年6月開催予定の定時評議員会終結時までとする。

◇外部監事の選任

外部監事 片桐 春美 片桐春美公認会計士事務所 代表

7. 協 議

(1) 第23回フォーラム8020について

小林副理事長より、第23回フォーラム8020について説明がなされた後、議長の求めに応じ意見交換がなされた。

(2) その他

8. 閉会の辞

副理事長 吉 岡 貴 司

議事録署名人

議 長	満 武	純
評議員	渡 邊	浩 次
評議員	田 中	久美子

② 第30回評議員会

日 時：令和7年10月22日（水）午後2時～同3時

場 所：東京都千代田区九段北4丁目1番20号 歯科医師会館701・702会議室

出席者：出席評議員数17名 出席理事数19名 出席監事数1名

出席した評議員の氏名

橋本成人、長沼善美、渡辺啓介、満武 純、鍵溝和子、三橋裕行、田中久美子

Web 会議により出席した評議員の氏名

藤田 純、良知義弘、橋本芳紀、脇田晴彦、森野 隆、渡邊浩次、依田裕希、岡林一登、植村大輔、下浦佳之

出席した理事の氏名

高橋英登、吉岡貴司、瀬古口精良、小林慶太、山本秀樹、伊藤明彦、近藤太郎、辻坂智矢、高柳篤史、坂田香里、柘植伸平、中原賢、前田真理子、山中一剛、吉田直美

Web 会議により出席した理事の氏名

杉岡伸悟、谷征大、西永英司、丸山博之

出席した監事の氏名

片桐春美

欠席者：欠席評議員数1名、欠席理事数6名

欠席した評議員の氏名

大島修一

欠席した理事の氏名

小野寺哲夫、飯島勝矢、小林隆太郎、坂ノ下典正、田口円裕、中西孝紀

欠席した監事の氏名

酒井昭則

議長の氏名

定款第21条の規定に基づき、満武 純評議員が議長に当たった。

議事録署名人：渡辺啓介、鏝溝和子

評議員会の議事の経過の要領及びその結果

○会議の成立

開会に先立ち、山本専務理事より日程の一部を変更し、定款第21条「評議員会の議長は、その評議員会において、出席した評議員の中から選出する。」の規定に基づき、議長を執行部一任のもと選出する旨が提案され、満武評議員が議長に選出された。

議長が出席者数を確認し、評議員総数18名中17名が出席となり、定款第22条「評議員会は、評議員の過半数の出席がなければ開催することができない。」を満たしている旨を報告し、開会を宣した。

また本評議員会はWeb会議システムを使用して開催する評議員会であること、出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、適宜的確な意思表示が互いにできる仕組みとなっていることを確認し、議案の審議に入った。

1. 開会の辞

副理事長 瀬古口 精 良

2. 議長の選出

山本専務理事より定款第21条の規定に基づき、満武評議員を議長に選出したい旨、提案があり、全員異議なく承認した。

3. 議事録署名人の選任

山本専務理事より定款第24条第2項「議事録には、議長及びその会議において選任された議事録署名人2人以上が、署名、押印をしなければならない。」の規定に基づき渡辺評議員、鏝溝評議員を選任したい旨、提案があり全員異議なく承認した。

4. 挨拶

理事長 高橋 英 登

5. 報告

(1) 理事・監事について

(2) 令和7年度の取り組みについて

会務報告（令和7年5月29日から10月10日迄）

①第29回評議員会の開催、②第1回理事会の開催、③第23回フォーラム8020、④噛むカムチェックガムを用いた8020普及啓発事業、⑤ロゴマークの普及事業、⑥調査研究事業、⑦令和7年度歯科保健活動事業報告会・公募研究発表会（令和5年度報告より）、⑧後援等名義使用の許可、⑨ホームページの整備、⑩歯科口腔保健法の制定及び歯科保健条例の制定マップ、⑪会員レターの発行

(3) 財団設立25周年記念 第23回フォーラム8020について

(4) 調査研究事業・指定研究について

6. その他・協議

(1) その他

藤田評議員より国債の運用について、「財団が保有している国債について、金利を鑑みた運用をした方がいいのではないか」旨、質問があった。執行部より「公益法人は投機的活動を目的としていない事業体であることから、満期前の売却は、特段の資金需要がある場合などを除いて原則行わないことが前提となっており、本財団は赤字が生じている団体ではなく、満期前の売却を検討する状況ではない。また、満期保有目的債権に分類された債券の一部を償還期限前に売却を行った場合には、保有目的の変更を行ったことに対するペナルティを公益法人会計基準に基づき整理すると、赤字決算が複数年にわたり生じることとなり、団体としてマイナス評価となり、内閣府の立ち入り検査でもチェックされることとなる。また、決算から半年後の評価損益が下がっていることから国債の買い替えに関しては非常に慎重を要する」旨、資料等を示し回答した。

8. 閉会の辞

副理事長 吉岡 貴司

議事録署名人

議長	満 武	純
評議員	渡 辺	啓 介
評議員	鏑 溝	和 子

③第31回評議員会

日 時：令和8年3月4日（水）午前11時～同12時

場 所：東京都千代田区九段北4丁目1番20号 歯科医師会館701・702会議室

出席者：出席評議員数17名 出席理事数19名 出席監事数2名

出席した評議員の氏名

橋本成人、長沼善美、渡辺啓介、渡邊浩次、鏑溝和子、三橋裕行、田中久美子

Web会議により出席した評議員の氏名

藤田 純、大島修一、良知義弘、橋本芳紀、脇田晴彦、森野 隆、依田裕希、岡林一登、植村大輔、下浦佳之

出席した理事の氏名

高橋英登、瀬古口精良、小林慶太、山本秀樹、伊藤明彦、辻坂智矢、小林隆太郎、坂田香里、坂ノ下典正、高柳篤史、西永英司

Web会議により出席した理事の氏名

吉岡貴司、近藤太郎、杉岡伸悟、田口円裕、谷征大、前田真理子、丸山博之、山中一剛

出席した監事の氏名

酒井昭則、片桐春美

欠席者：欠席理事数5名

欠席した理事の氏名

小野寺哲夫、飯島勝矢、柘植伸平、中西孝紀、中原賢

議長の氏名

定款第21条の規定に基づき、渡辺啓介評議員が議長に当たった。

議事録署名人：三橋裕行、長沼善美

評議員会の議事の経過の要領及びその結果

○会議の成立

開会に先立ち、山本専務理事より日程の一部を変更し、定款第21条「評議員会の議長は、その評議員会において、出席した評議員の中から選出する。」の規定に基づき、議長を執行部一任のもと選出する旨が提案され、満武評議員が議長に選出された。

議長が出席者数を確認し、評議員総数17名中17名が出席となり、定款第22条「評議員会は、評議員の過半数の出席がなければ開催することができない。」を満たしている旨を報告し、開会を宣した。

また本評議員会はWeb会議システムを使用して開催する評議員会であること、出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、適宜的確な意思表示が互いにできる仕組みとなっていることを確認し、議案の審議に入った。

1. 開会の辞 副理事長 瀬古口 精 良
2. 議長の選出
山本専務理事より定款第21条の規定に基づき、渡辺啓介評議員を議長に選出したい旨、提案があり、全員異議なく承認した。
3. 議事録署名人の選任
山本専務理事より定款第24条第2項「議事録には、議長及びその会議において選任された議事録署名人2人以上が、署名、押印をしなければならない。」の規定に基づき三橋評議員、長沼評議員を選任したい旨、提案があり全員異議なく承認した。
4. 挨拶 理事長 高橋 英 登
5. 報 告
 - (1) 山本専務理事より、会務現況として以下の事項について報告がなされた。
①第2回理事会の開催、②第30回評議員会の開催、③会誌「8020」の発行、④国民向け啓発小冊子の作成・配布、⑤第23回フォーラム8020、⑥8020運動ポスター、⑦理事長賞の贈呈、⑧嚙むカムチェックガムを用いた8020普及啓発事業、⑨調査研究事業、⑩助成事業（歯科保健活動助成事業、8020公募研究助成事業、公募研究課題の論文作成状況アンケート）、⑪指定研究事業、⑫令和7年度歯科保健活動事業報告会・公募研究発表会、⑬後援名義等使用の許可、⑭ホームページの整備、⑮歯科口腔保健法の制定及び歯科保健条例の制定マップ、⑯8020アンケート・プレゼントキャンペーン（第16弾）、⑰その他：ガバナンス強化・会計監査の整備
 - (2) 令和8年度賛助会費の額 伊藤常務理事
 - (3) 令和8年度事業計画及び収支予算 山本専務理事
伊藤常務理事
 - (4) 資金調達及び設備投資の見込みについて 伊藤常務理事
 - (5) 公益充実資金等取扱規程について 山本専務理事
 - (6) その他
議長の求めに応じ小林副理事長より、令和8年度調査研究事業・指定研究として二題を行う旨の報告がなされた。

6. 議 事

第1号議案 評議員辞任に伴う後任評議員の選任について

山本専務理事より、定款第13条第1項「評議員の選任及び解任は、評議員会において行う」の規定により、以下のとおり辞任に伴い後任の評議員を選任する旨の説明がなされ全員異議なく承認した。

なお、任期は定款第14条第2項「任期の満了前に退任した評議員の補欠として選任された評議員の任期は、退任した評議員の任期の満了する時までとする」の規定により、前任者の任期満了時の令和9年6月開催予定の定時評議員会終結時までとする。

辞任評議員	後任評議員候補者
井上 恵司 公益社団法人東京都歯科医師会 前会長	北村 晃 公益社団法人東京都歯科医師会 会長
満武 純 ライオン株式会社 シニアフェロー	横手 弘宣 ライオン株式会社 グローバルオーラル ヘルスケア事業開発センター 部長
森 亨 一般財団法人日本公衆衛生協会 前会長	松谷 有希雄 一般財団法人日本公衆衛生協会 会長

第2号議案 理事辞任に伴う後任理事の選任について

山本専務理事より、定款第27条第1項「理事及び監事は、評議員会の決議によって選任する」の規定により、以下のとおり辞任に伴い後任の理事を選任する旨の説明がなされ全員異議なく承認した。

なお、任期は定款第30条第3項「補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする」の規定により、前任者の任期満了時の令和9年6月開催予定の定時評議員会終結時までとする。

辞任理事	後任理事候補者
吉田 直美 公益社団法人日本歯科衛生士会 前会長	武藤 智美 公益社団法人日本歯科衛生士会 会長

7. 協 議

(1) 第24回フォーラム8020について

小林副理事長より、第23回フォーラム8020について説明がなされた後、議長
の求めに応じ意見交換がなされた。

(2) その他

8. 閉会の辞

副理事長 吉 岡 貴 司

議事録署名人

議 長 渡 辺 啓 介
評議員 三 橋 裕 行
評議員 長 沼 善 美

(3) 委員会等

令和7年度事業計画に基づき事業を推進するため、下記の委員会を開催した。

① ロゴマーク使用許可審査委員会

書面審査	令和7年	7月	3日	サンスター株式会社
第1回	令和7年	8月	1日	
書面審査	令和7年	8月	6日	サンスター株式会社
書面審査	令和8年	1月	20日	サンスター株式会社

② 広報委員会

第2回委員会	令和7年	6月	5日
第1回委員会(新執行部)	令和7年	8月	21日

③ 会誌編集委員会

第1回委員会	令和8年	2月	4日
--------	------	----	----

④ 地域歯科保健活動推進委員会

第1回委員会	令和8年	2月	25日
--------	------	----	-----

⑤ 8020調査研究委員会

第1回委員会	令和8年	3月	19日
--------	------	----	-----

⑥ 8020ポスター審査会

令和7年度審査会	令和7年	11月	5日
----------	------	-----	----

9. 事業活動

(1) 会誌「8020」の発行

会誌「8020」は、日常生活で役立つ歯と口の健康情報と歯科関係者に役立つ専門的な情報や本財団の事業報告などを盛り込み、年1回発行している。

令和7年度(25号)は「生物の寿命はどう決まる～寿命の不思議～」をテーマに制作した。本会誌は賛助会員への配布とあわせて、関係団体や全国保健所等への配布を通じて広く情報発信し、ホームページに掲載することで8020運動や本財団の活動内容の周知を進めている。

(2) 国民向け啓発小冊子の作成・配布

8020運動の普及と8020達成に役立つ啓発小冊子を作成し、全国の保健所・行政・関係団体を通じて広く配布し、国民に周知している。

啓発小冊子の企画・制作にあたっては、テーマ・年齢層を固定せず、様々な世代が日常生活で役立つ歯と口の健康情報を取りあげて作成している。

① 「家族みんなの歯の手帳」

8020を達成するには、すべてのライフステージで歯の健康を意識した生活を送ることが大切なことから、「家族で目指そう8020」をテーマに小冊子「家族みんなの歯の手帳」を作成した。令和8年2月に全国の保健所・行政等の各関係方面並びに賛助会員に15万部配布し、ホームページに掲載した。なお、本事業は一般財団法人宝くじ協会の助成を受けて実施している。

②「歯科から発信！認知症予防！！」8020読本

主に40代～60代（認知症の方のご家族やサポートする方など）を読者対象に、「認知症が歯科に与える影響」、「残存歯数と認知症の関連性」、「栄養摂取の質の低下と認知症の関係」等を紹介、認知症のリスクと歯科による予防の重要性を伝えることをテーマに、小冊子「歯科から発信！認知症予防！！」を作成した。なお、全国の保健所・行政等の各関係方面並びに賛助会員に配布するとともに、財団ホームページに掲載を予定している。

(3) 第23回フォーラム8020の開催

「8020推進運動の軌跡 ～達成率から見えてきたこと～」をテーマに令和7年12月6日（土）に開催した。

財団設立25周年を迎えるにあたり、これまでの8020運動を検証するとともに、歯を残す意義の新たな裏付け、パイロット調査結果から読み取れたこと、推進運動をどう評価するかについて知見を広めるべく、各分野の専門家による講演と総合討論の形で情報発信した。講演の内容は2月上旬にホームページで公開した。

<開催概要>

テーマ「8020推進運動の軌跡 ～達成率から見えてきたこと～」

○挨拶：高橋英登 <公益財団法人8020推進財団 理事長>

○来賓挨拶：小淵優子様 <衆議院議員>

○基調講演：「8020推進運動のスタートを振り返って
—8020の意味するもの—」

講師：大久保満男氏 <元（公財）8020推進財団理事長・
元（公社）日本歯科医師会 会長>

○講演1「歯を残す意味を再考する」

講師：池邊一典氏 <大阪大学大学院歯学研究科 有床義歯補綴学・
高齢者歯科学講義 教授>

○講演2「令和6年歯科疾患実態調査」について

講師：池田裕一氏 <厚生労働省医政局歯科保健課歯科口腔保健推進室 室長補佐>

○講演3「学校歯科現場での取り組み」

講師：苗代明氏 <（公社）日本学校歯科医会専務理事>

○講演4「学生・ヤング世代のための歯科保健活動を考える

—東京都歯科医師会成人歯科保健活動の実際—

講師：福田雅臣氏 <日本歯科大学名誉教授>

○講演5「令和5・6年度実施 8020パイロット調査から見えたこと」

講師：高柳篤史氏 <（公財）8020推進財団理事・東京歯科大客員教授>

○総合討論「8020推進運動の歩みの評価と指針」

座長：山本秀樹専務理事

パネリスト：大久保満男氏、池邊一典氏、池田裕一氏、苗代明氏、福田雅臣氏、高柳篤史氏

※ご所属先・役職は開催時の表記

(4) 8020運動ポスターの募集

ポスター制作を通じて、国民の8020運動や歯の健康に対する認知・理解をより一層高めることを目的に「8020運動ポスター」の募集を行っている。

令和7年度は4月1日から9月30日までに応募のあった1258作品について11月5日(水)に審査会を開催し、12作品を選出した。

＜最優秀賞(1名)＞ 小林 路加

＜優秀賞(3名)＞ 岡下 実生、吉岡 和花、植田 愛華

＜入 選(8名)＞ 佐々木瑠美、海野 椿、長谷川侑希、上遠野優衣、
和田 勉、島根 義一、西川 留以、山本 梓月

なお、審査結果・入選作品・受賞者のコメント等をホームページに掲載し、併せて会誌「8020」第25号でも紹介している。

(5) 8020推進財団理事長賞の贈呈

歯の維持がその後の健康との関わりを含め、人生に大きく影響することの重要性について8020達成者の表彰を通して社会に提言・理解を促進することを目的に8020推進財団理事長賞を贈呈した。被表彰者は各都道府県歯科医師会を通じて推薦申請され、都道府県歯科医師会が行っている事業にて表彰を行っている。

令和7年度は、青森県、岩手県、宮城県、茨城県、栃木県、千葉県、埼玉県、静岡県、愛知県、三重県、岐阜県、富山県、石川県、福井県、滋賀県、奈良県、大阪府、鳥取県、広島県、島根県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、熊本県、宮崎県、沖縄県の29府県より申請がなされ、賞状を授与した。

(6) 噛むカムチェックガムを用いた8020普及啓発事業

8020運動の推進、歯の健康保持に対する関心を高める一環として実施しており、歯科医師会のほか、学校・市区町村保健センター等からの事業申請に対して審査を実施したのちガムを提供した。提供した団体は下記の通り。

【歯科医師会】

日本歯科医師会、三重県歯科医師会、大阪府歯科医師会、宮崎県歯科医師会、浮羽歯科医師会、鳥取県西部歯科医師会、茨城県歯科医師会

【市区町村・保健所】

東郷町役場、郡山市保健所、甲佐町役場、大分県北部保健所

【小中高等学校】

和歌山県田辺市立本宮小学校、徳島県上勝町立上勝中学校、熊本県宇城市立豊野小学校、東松山特別支援学校嵐山学園分校、山江村立山田小学校、四日市市立常磐小学校、射水市立下村小学校、射水市小学校教育研究会、三重県立津西高等学校、桜川市立羽黒小学校、熊本県立八代工業高校、山口市立白石小学校

【その他】

シャープ健康保険組合、多治見市民病院、全国土木建築国民健康保険組合、道南森ロイヤルケアセンター、シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社、東京科学大学歯科公衆衛生学分野、長野県歯科衛生士会北信支部

(7) ロゴマークの普及

本財団のロゴマークを商品や制作物に使用することで8020運動を普及啓発する目的に、賛助会員からロゴマーク使用申請があったものに対して審査し使用を許可している。

令和7年度は賛助会員から4件のロゴマーク使用申請があり、ロゴマーク使用許可審査委員会で使用目的・用途、制作物や商品が8020運動に相応しいものか、ロゴマーク使用規約に準拠しているかなどの審査を実施し理事長に報告した結果、全ての申請に対してロゴマークの使用を許可した。

(8) 歯科保健活動事業報告会・公募研究発表会の開催

地域や研究機関を通じて8020運動に関わる活動・研究を広く周知することを目的に、歯科保健活動事業および公募研究の中から地域等で取り組みやすい方法・事業例や8020運動に興味関心を抱くような課題を各3題選定し、報告会・発表会を開催している。

今年度は、令和5年度に採択された事業・研究課題より講演・質疑応答を収録し、9月下旬にホームページで公開した。

① 歯科保健活動事業報告会（令和5年度報告より）

歯科医療関係者とケアマネジャーとの共同アセスメント推進事業 一般社団法人 佐世保市歯科医師会 太田 信敬 先生
歯科口腔保健の普及啓発事業・歯の喪失防止に関する調査事業 一般社団法人 福岡市歯科医師会 吉兼 透 先生
食育を通じた歯と口腔の健康づくり事業 一般社団法人 宮城県歯科医師会 戸田 慎治 先生

② 公募研究発表会（令和5年度報告より）

高齢者における口腔機能低下と転倒リスクとの関連 水谷 慎介 氏（九州大学大学院 歯学研究院附属OBT研究センター 准教授）
高齢者における唾液分泌量の実態調査および唾液分泌と咬合状態に関する研究 新明 桃 氏（(公財)ライオン歯科衛生研究所 研究部 歯科衛生士）
舌苔の付着や舌の乾燥は口腔機能および身体機能と関連するか ：深層学習を用いた舌の画像解析 大川 純平 氏（新潟大学大学院医歯学総合研究科 包括歯科補綴学分野 助教）

※ご所属先・役職は収録時の表記

(9) 後援等名義使用の許可

令和7年度は以下の関係団体より依頼を受け、後援名義の貸与を了承した。

- ・第14回全国歯科医師会野球大会
(申請日：令和7年5月19日)
主催：日本歯科医師野球連盟
- ・世界口腔保健学術大会記念「第30回口腔保健シンポジウム」
(申請日：令和7年5月19日)
主催：公益社団法人日本歯科医師会
- ・第29回奈良県高齢者いい歯のコンクール
(申請日：令和7年5月26日)
主催：一般社団法人奈良県歯科医師会
- ・第46回むし歯予防全国大会 in Tokyo
(申請日：令和7年6月23日)
主催：NPO 法人日本フッ化物むし歯予防協会
- ・第46回全国歯科保健大会
(申請日：令和7年9月8日)
主催：厚生労働省
- ・WEB市民セミナー in 秦野
(申請日：令和8年2月26日)
主催：日本臨床矯正歯科医会神奈川支部

(10) ホームページの整備

「8020運動」のさらなる周知・啓発、歯と口の健康及び全身との関係に関する情報を広く国民・社会に提供するため、ホームページの整備・充実を進めている。

令和7年度は国民向けコンテンツの8020読本「自分の歯で一生おいしく食べるために」「口腔機能発達不全症ってなあに？」を基に製作したアニメーション動画を公開し、新たなテーマでの動画製作を予定している。

また、歯科関係者向けに歯科口腔関連情報をまとめた「データバンク」の情報更新・充実化も進めている。

(11) 8020アンケート・プレゼントキャンペーン (第16弾)

令和7年11月4日から令和8年2月28日まで、本財団のホームページにおいて、一般の方を対象として「8020運動」の認知度や、ホームページの閲覧・利用状況等に関するアンケート調査を実施した。アンケート参加者には、抽選で100名に本財団発行の8020啓発小冊子と株式会社サンスターの協力による賞品をプレゼントした。

なお、アンケートから「8020運動」の認知度が84.7%にのぼることが分かった。

また、本財団ホームページの閲覧目的は「歯のみがき方、お口の手入れの方法を知るため」が54.0%、「歯やお口についてのマメ知識」が47.2%、「生活情報を知るため」が27.8%との調査が得られた。

(12) 歯科口腔保健法の制定及び歯科保健条例の制定マップ

平成23年8月10日に歯科口腔保健法が公布され、都道府県における「歯科保健条例」の制定状況を本財団ホームページ内のマップにまとめ、国民に周知している。

令和8年3月末現在、45道府県および242市区町村で条例が制定されている。

(13) 調査研究事業

8020運動や歯科・口腔の健康と全身の健康の関連等について、調査・研究を実施している。

令和7年度は幸手市・幸手市歯科医師会の協力を得て、「8020横断調査」を実施した。本調査は幸手市在住で令和7年に80歳になる方を対象とし、10月に集団診査会場、幸手市歯科医師会会員の協力歯科医院、居宅、介護施設等において口腔内診査と質問紙調査を行った。

また、令和8年3月に実施報告書を作成し、関係団体へ配布するとともにホームページに掲載する予定である。

(14) 指定研究事業

8020運動の推進に必要な調査・研究に関する事業として、将来に向けて有用と思われる研究や本財団が直面する課題に対処するため、研究を指定し助成を行っている。

令和7年度は下記の研究について、本財団理事が審査を実施し、理事会を経て採択と助成額を決定した。

研究者	所属・職名	研究課題
相田 潤	東京科学大学 大学院医歯学総合研究科 歯科公衆衛生学分野 教授	働く人々のストレスと口腔の健康の研究

(15) 助成事業

① 令和7年度歯科保健活動事業への助成交付

2月12日（水）に第3回地域歯科保健活動推進委員会を開催し、12月16日の締切りまでに応募のあった23題の歯科保健活動事業助成交付申請について審査を行い、令和7年5月28日（水）開催の第8回理事会を経て下記の19題を採択し、各事業に対して助成交付を行った。

事業名と申請団体名は以下のとおり。

申請団体	事業	実施組織
一般社団法人 山形県歯科医師会	歯科衛生士・歯科技工士の資格と歯科口腔保健の普及に関する学生への啓蒙パンフレット作成	一般社団法人山形県歯科医師会
公益社団法人 東京都歯科医師会	子どもの虐待防止啓発事業（子どもの虐待防止研修会）	公益社団法人東京都歯科医師会、母子保健医療常任理事会
一般社団法人 長野県歯科医師会	こども8020推進員育成事業	一般社団法人長野県歯科医師会
一般社団法人 愛知県歯科医師会	中日ドラゴンズ歯科健診	一般社団法人愛知県歯科医師会
公益社団法人 鹿児島県歯科医師会	成人期の歯科口腔保健対策事業	公益社団法人鹿児島県歯科医師会、鹿児島県保健福祉部健康増進課（鹿児島件口腔保健支援センター）
一般社団法人 仙台歯科医師会	青年期における歯科保健啓発活動「ハロープロジェクト」の推進	（一社）仙台歯科医師会、東北大学大学院歯学研究科、東北大学歯学部歯科医療研究会、仙台市歯と口の健康づくりネットワーク会議、仙台市
一般社団法人 大崎歯科医師会	高齢者介護施設における口腔ケア推進事業	一般社団法人大崎歯科医師会

一般社団法人 会津若松歯科医師会	医科歯科連携の事業	一般社団法人会津若松歯科医師会
一般社団法人 八千代市歯科医師会	転倒リスクと咀嚼能力の相関性評価研究～高 齢者以降を対象とする～	一般社団法人八千代市歯科医師会、東京医科 歯科大学摂食嚥下リハビリテーション学分 野、八千代市（後援）
一般社団法人 東京都杉並区歯科医師会	杉並区の高齢者の「歯と口腔の健康」を守る ための普及啓発事業	東京都杉並区歯科医師会、杉並区高齢者施策 課、杉並区いきいきクラブ連合会
公益社団法人 東京都町田市歯科医師会	高齢者歯科口腔機能健診	町田市、公益社団法人東京都町田市歯科医師 会
一般社団法人 東京都東久留米市 歯科医師会	東久留米市内の保育園における口腔衛生指導	一般社団法人東京都東久留米市歯科医師会、 公益社団法人東京都歯科衛生士会、東久留米 市
一般社団法人 東京都立川市歯科医師会	障害者施設通所者に対するフッ化物応用事業	一般社団法人東京都立川市歯科医師会
一般社団法人 横浜市歯科医師会	幼児期のう蝕罹患率の低下ならび乳歯列期か ら混合歯列期の口腔ケア及びかかりつけ歯科 医受診勧奨を目的とした「しおり」や動画な どを含むWeb活用による啓発活動	一般社団法人横浜市歯科医師会
公益社団法人 長野市歯科医師会	障害者施設での歯科健診、および口腔ケアの 実施	公益社団法人長野市歯科医師会
一般社団法人 西宮市歯科医師会	人間ドックにおける歯周病唾液検査導入の取 り組みについて	一般社団法人西宮市歯科医師会、一般社団法 人西宮市医師会
一般社団法人 福岡市歯科医師会	歯科口腔保健の普及啓発事業・歯の喪失防止 に関する調査事業	一般社団法人福岡市歯科医師会
一般社団法人 佐世保市歯科医師会	多世代多職種連携によるフレイルドミノの予 防啓発活動	佐世保市歯科医師会、長崎県歯科衛生士会佐 世保支部、長崎短期大学（地域共生学科 食 物栄養コース・介護福祉コース）、長崎国際 大学（健康管理学部 健康栄養学科、人間社 会学部 社会福祉学科）、佐世保市相浦地域包 括支援センター、佐世保市早岐地域包括支援 センター
石巻圏摂食嚥下研究会	石巻圏摂食嚥下研究会 食べる輪	石巻圏摂食嚥下研究会

② 令和7年度8020公募研究事業

令和6年12月18日から令和7年1月17日までの募集期間中に申請された50題の公募研究課題について、令和7年3月27日（木）開催の第3回8020調査研究委員会にて審査を実施し、令和7年5月28日（水）開催の第8回理事会を経て下記の15題の採択と助成交付額を決定した。

研究課題と申請者等は下表のとおり。

<公募研究課題>

1. 歯科口腔保健に関する疫学研究

2. 8020と全身の健康（生活習慣病、フレイル、オーラルフレイル、認知症、ADL、QOL等）に関する研究
3. 介護・医療（終末期医療を含む）等に関する研究
4. 小児・高齢者の口腔機能（摂食・嚥下機能を含む）及び口腔健康管理等に関する研究
5. オーラルヘルスプロモーションおよび歯の喪失防止に関する研究
6. 自由研究課題

申請者	所属	職名	研究課題
西辻 直之	公益社団法人 東京都港区芝歯科医師会	副会長	唾液ヘモグロビン検査の有効性を検証するための従来型歯科健診との比較試験
増子 紗代	東京科学大学	大学院生	高齢者における口腔問題及び口腔保健行動の改善と死亡・要介護予防効果、医療費・介護費削減効果との関連：千葉市縦断研究
許 以寧	京都大学大学院 総合生存学館	大学院生	児童相談所の一時保護児における口腔内状況と虐待分類との関連性の定量化・可視化
近藤 実南	サンスター株式会社 研究開発統括部 オーラルケア研究開発部	研究員	Intra Oral Scanner (IOS) を活用した歯肉退縮および根面う蝕のコホート調査
山本 俊郎	京都府立医科大学附属病院(歯科)	歯科診療 副部長・病 院准教授	京丹後長寿コホート研究における長寿者の口腔マイクロバイオーームに着目したオーラルフレイルと糖尿病との関連について
三野 卓哉	大阪歯科大学歯学部 欠損歯列補綴咬合学講座	講師	食事時の咀嚼運動習慣が認知症の発症に与える影響：地域在住高齢者コホート研究
竹原 祥子	新潟大学大学院 医歯学総合研究科 口腔健康科学講座予防歯科学分野	准教授	歯科標榜のない病院における多職種協働型の歯科医療提供体制のモデル構築：一関病院における取組み事例の分析
鈴木 啓之	昭和大学歯学部 口腔機能管理学分野	講師	病棟勤務看護師の口腔健康管理に対する認識と歯科に対するニーズの解明
大川 純平	新潟大学大学院 医歯学総合研究科 包括歯科補綴学分野	助教	舌の清掃不良と咀嚼機能の低下は身体機能や栄養状態と関連するか：機械学習を用いた舌および咀嚼の動画画像解析
真柄 仁	新潟大学 医歯学総合病院	講師	食道癌外科手術症例における周術期口腔嚥下機能からみた術後予後評価
吉村 卓也	鹿児島大学病院 口腔顎顔面外科	研究准教授	口腔機能から心身の健全な発達を目指すための包括的小児発達評価
長谷川 陽子	新潟大学大学院 医歯学総合研究科 包括歯科補綴学分野	講師	下顎運動が咀嚼能力に及ぼす影響—顔面匿名化技術を用いた大規模サンプル解析—
古田 美智子	九州大学大学院 歯学研究院	准教授	社会実装を見据えた8020達成予測モデルの構築と予測ツールの開発
上之郷 健人	名古屋大学大学院医学系研究科 頭頸部感覚器外科学講座 顎顔面外科学	大学院生	薬剤関連顎骨壊死患者の口腔細菌叢に関する研究

入江 浩一郎	長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 口腔保健学分野	教授	炎症と生体の防御能を反映する唾液成分を活用した歯周病の早期診断・予測モデルの開発
--------	---------------------------------	----	--

③ 歯科保健活動助成事業・8020公募研究の報告書作成

令和6年度歯科保健活動助成事業および令和6年度8020公募研究の成果をまとめた報告書をそれぞれ作成し、令和7年10月に賛助会員並びに関係方面に配布した。

また、各報告書抄録をホームページに掲載し、事業を周知した。

④ 8020公募研究課題 論文作成状況に関するアンケートの実施

8020公募研究助成事業において、採択した研究課題について、8020運動に関連する研究の情報収集および研究成果を周知する目的でアンケートを実施している。

令和7年度は令和6年度採択課題の研究者と、平成29年度以降に採択され昨年度時点で論文執筆中・審査中と回答した研究者に対してアンケートへの回答と論文情報の提供を依頼し情報収集した。

(16) 会員レターの発行

本財団の活動報告をまとめた会員レターを年2回発行し、賛助会員等に送付・報告している。本年度は10月に第38号、3月に第39号を発行した。

(17) 賛助会員証の発行

本年度の入会者に賛助会員証を発行・送付した。